

# 1. 準備

- ・ 検査用血液（通常はEDTA2Na加血液※）
- ・ スライドガラス
- ・ カバーガラス（引きガラスとして使います）  
    推奨）MATUNAMI MICRO COVER GLASS  
    24×24mmあるいは24×32mmなど
- ・ ドライヤー

※現場採血後の血液について：

    溶血防止のためサンプル容器と保冷剤が直接接触  
    しないように保冷します。

## 2. 血液をのせる

1. カバーガラスの角に血液を付着させる。
2. 1. のカバーガラスをスライドガラスに乗せ、付着させた血液をカバーガラスの幅に広げる。

- ・血液の濃度が一定になるようにカバーガラスをスライドガラスにこすりつけるように上下に2~3回動かす)
- ・スライドガラスに乗せた血液が多かった時はカバーガラスを両角で歩かせるように前に進め、適当な位置で血液を広げる。

※ヘマトクリット管で吸い上げた血液をスライドガラスに置く方法もあります。  
いろいろ試してみてください。

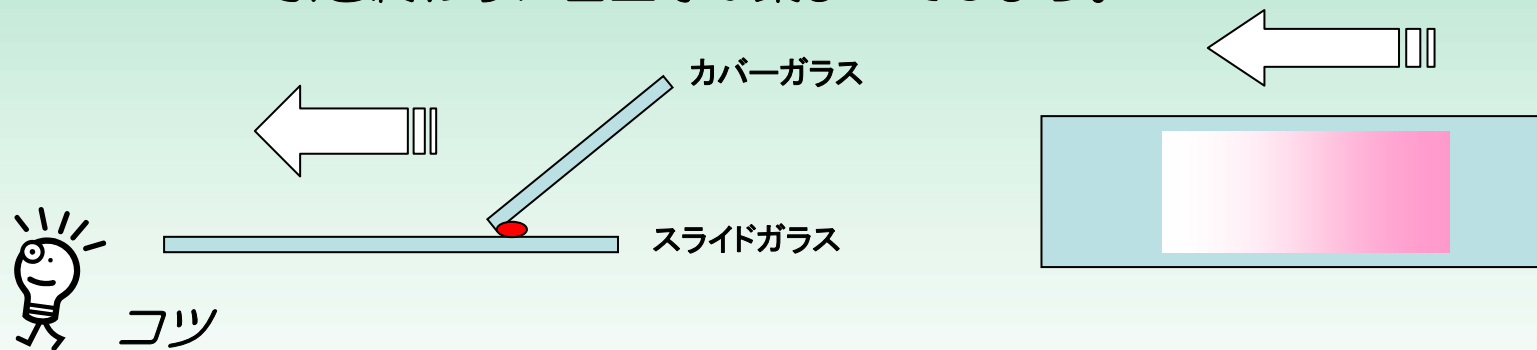
# 3. 塗抹を引く

1. スライドガラスとカバーガラスの角度を約 $30^\circ$ に保ちながら、2枚のガラスがくっついた状態のまま、速やかに一定の速度で引く。

○スライドガラスの $1/2 \sim 2/3$ のところで引き終わるのが理想です。

○カバーガラスの角度について

- ・角度大→塗抹が厚くなり、血液細胞の重なりが多くなる
- ・ // 小→ // は薄いですがスライドガラスの端まで引いても血液が残り、引き終わりに白血球が集まってしまう。



親指と人差し指でカバーガラスを持ち、親指と中指（あるいは人差し指）の腹で2枚のガラスを挟んで角度を固定し、スライドガラスの上を滑らせる気持ちでスッと一気に引く。



HP上の俺をクリックしてくれ!!

## 4. 乾 燥

塗抹を引いた後は直ちにドライヤーの冷風で乾燥させる。  
ゴミがくっついてしまわないように、スライドガラスの裏側から乾燥させる。

(乾燥までに時間がかかると血球が変形し鏡検しにくい標本になってしまう。)

# 5. 固 定

メタノールで2～8分程度固定する。

※すぐに染色しない場合は固定終了後、水洗し、乾燥させて保管する。

## 6. 染色

- 1) 染色：pH6.8のPBSで希釈した10%ギムザ染色液で1時間固定する\*。
- 2) 洗浄：水道水で十分にすすぐ
- 3) 乾燥：室内にて自然乾燥

\*メタノール固定後、塗抹面がメタノールで濡れている間に染色する。